



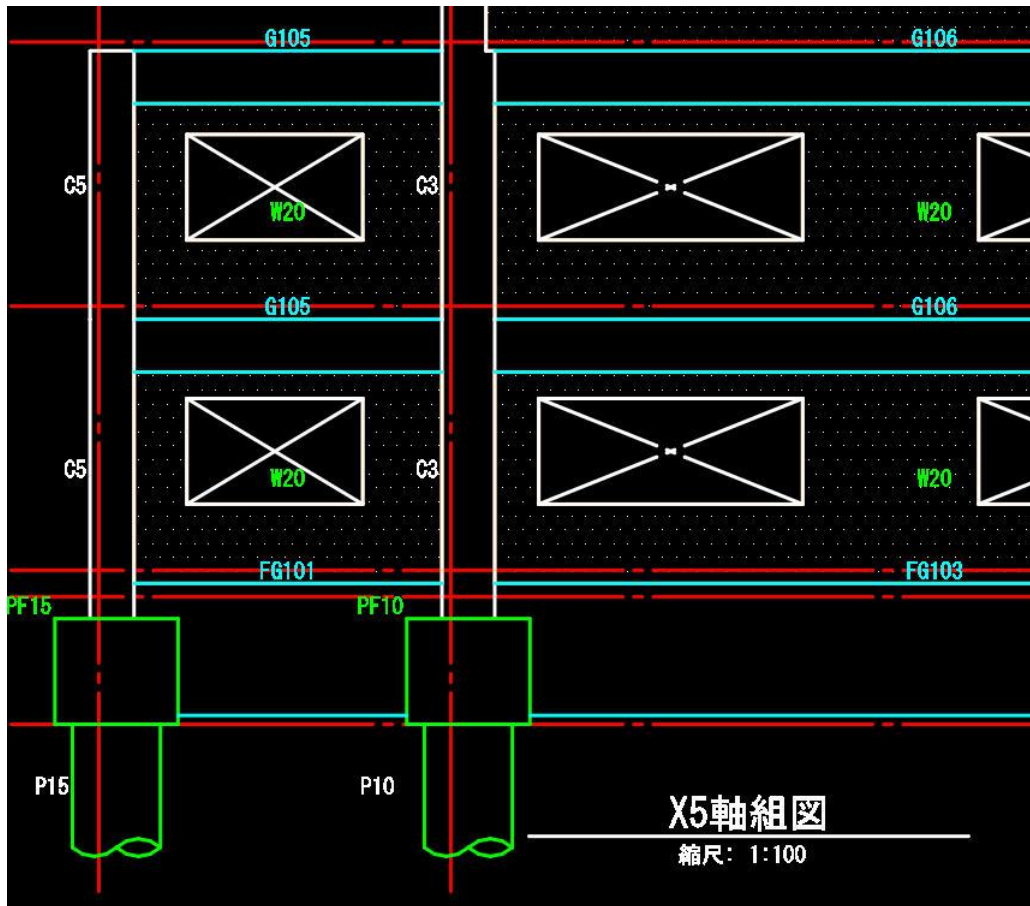
## カスタマイズ例-1：実線で生成(RC軸組図)

Drawingではオプションテンプレートの線種や色をカスタマイズすることが可能です。  
軸組図の全ての部材線を実線で描くように設定したオプションテンプレートをご用意しました。

- ・オプションテンプレート名称 : Drawing Template Ele. Continuous\_V231R8.dwg
- ・オプションテンプレート設置場所 : C:\MIDAS\SystemFiles\DRAWING\_JP\Drawing Templates

### ■ カスタマイズ例-1：実線で生成(RC軸組図)

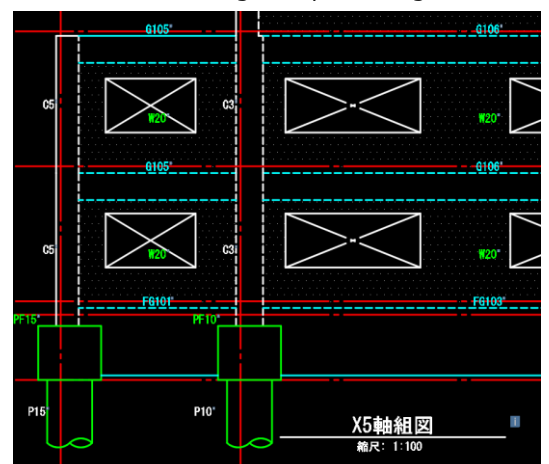
Drawing Template Ele. Continuous\_V231R8.dwg



※軸組図以外（柱芯図、基礎伏図、構造伏図）は、midasスタンダードテンプレートと同様です。

### ■ midasスタンダードテンプレート

Standard Drawing Template.dwg





カスタマイズ例-1：実線で生成(RC軸組図)

■ オプションテンプレート設置方法

1 サンプルファイルをダウンロード

※ページ右下の「ファイルダウンロード」をクリックし  
任意の位置にダウンロード

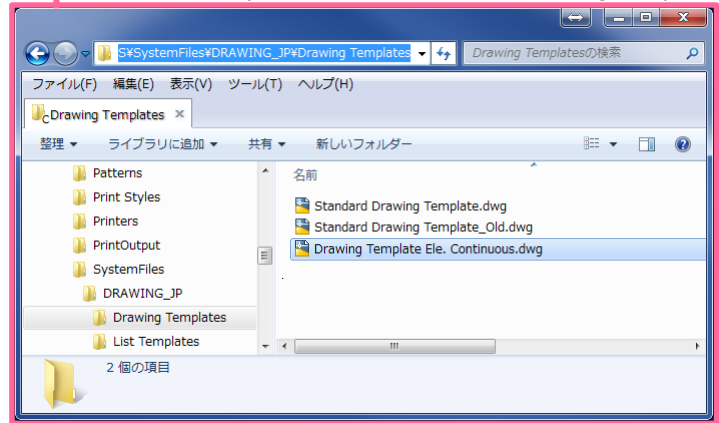
ファイルダウンロード

2 圧縮ファイルを展開(解凍)

※圧縮(ZIP形式)ファイルを展開(解凍)

3 ファイルを設置

※展開したオプションテンプレートファイルを下記のフォルダに設置  
設置場所：  
C:\MIDAS\SystemFiles\DRAWING\_JP\Drawing Templates



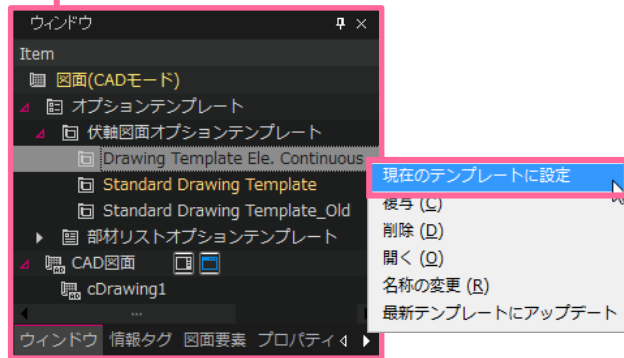
4 Drawingを立ち上げる

※プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを  
配置してもデータは反映されません。



5 現在のテンプレートに設定

※設定するテンプレート上で右クリック>「現在のテンプレートに設定」クリック



6 eGenファイルを開く

[メニュー]> [図面生成]> [eGenファイルを開く]クリック

7 構造図面生成マネージャーを設定

※1「構造断面図に陰線を図化しない」にチェックを入れると、基礎内に杭頭が描かれません。  
※2「部材種類だけ区分」を選択すると、柱・梁・壁が同面の場合でも線が描かれます。

8 軸組図を自動生成

[メニュー]> [図面生成]> [軸組図を生成]クリック

